

はしかに関する注意喚起

○豪州国内で麻しん（はしか）の感染例が多く報告されており、注意が必要です。

1 大洋州地域で、麻しんの感染例が多く報告されています。本年1月から12月18日までに、ニュージーランドで2172人、サモアで5424人(77人死亡)、トンガで440人、フィジーで21人の感染が確認されています。オーストラリアにおいては、10月までに、276人の感染が確認されており、以降漸増しているようです。

2 つきましては、オーストラリアに滞在する方、またはこれから渡航を予定されている方は、麻しんに感染するリスクがあることを認識し、麻しんの予防接種を2回受けていない方は、受けることを検討してください。

3 今後、場合によっては集団発生も危惧されるため、保健当局から発出される麻しんの感染症情報にご留意いただき、注意を怠らぬようにしてください。

4 なお、マーシャルおよびソロモン諸島においては、オーストラリア等の現在麻しんが流行している国からの入国者には、予防接種の証明が入国条件となっていますので、渡航を予定している方は事前にご確認ください。

5 併せて、外務省が発出している広域情報（海外における麻しん（はしか）・風しんに関する注意喚起（その3））もご確認ください。

https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo_2019C132.html

【問い合わせ先】

在ブリスベン日本国総領事館

住所：Level 17, 12 Creek Street, Brisbane QLD 4000

電話：07 3221 5188 / FAX 07 3229 0878